

施策評価シート(平成31年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0402	政策名	参画・協働のまちづくり	施策主管課	地域づくり課	課長名	菊池 司
政策の目指す姿	お互いを尊重し、持っている特性と能力を活かし合い、まちづくりを行っています						
施策No	01	施策名	市政への参画・協働機会の拡充	関係課名			
施策の目指す姿	市政に関心を持って積極的に関わっています						
現状と課題							
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民と行政の協働によるまちづくりが進められていると思う市民の割合は約3割(市民アンケート)にとどまっていることから、市民と市との協働を推進する必要があります。</li> <li>市民が行政に対し、提案や意見をのべる機会の継続が求められています。</li> </ul>							

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き市民参画について市広報や市HP等で周知し、市民がより参画しやすくなるよう配慮する。</li> <li>市民と市との協働については、市職員及び市民へ参画と協働の考え方の浸透を図るため、市HPでの情報発信を行い意識啓発を行う。</li> </ul>
反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民参画の実施予定について、市広報や市HP、SNSで周知を図ったが、3件のパブリックコメントにおいて閲覧者数が230人から270人程度であった。周知方法について検討の余地があることから、今後は、さらに周知に努めていくこととする。</li> <li>市職員及び市民へ市政への参画と協働に対する考え方の浸透を図るため、市HPでの情報発信を行い意識啓発を行ったが、市民アンケートでは、協働によるまちづくりが進められていると思う市民の割合が35.4%と目標値の42%に達していない状況であった。</li> </ul>

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1)参画・協働機会の拡充 重要な計画等の策定時において、ワークショップ等の適切な方法を用いた市民参画の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>市民参画・協働推進委員会、市民参画・協働推進職員チーム会議における市民参画の評価</li> <li>市HPや広報による市民参画実施予定及び実施結果の周知</li> </ul>
(2)広聴の充実 市政懇談会、まちづくり懇談会、市長へのはがきやメール、市長への手紙、政策提案 <ul style="list-style-type: none"> <li>市政懇談会の開催</li> <li>要望・陳情並びに市長へのはがきやメールの受付・対応</li> </ul> 本庁、各総合支所での市民との対話 <ul style="list-style-type: none"> <li>市民との対話の実施</li> </ul>

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H28	H29	H30	H31	R02	R03
市政へ意見を述べる機会が確保されていると認める市民の割合	市政への意見を述べる機会や場に対する市民の満足度を測る指標として設定する。	出典：市民アンケート 問「あなたは市民が市政に対し意見を述べる機会が確保されていると思いますか？」(市政懇談会、住民説明会、パブリックコメントの実施など) (1)そう思う (2)どちらかというと思う (3)そう思わない (4)どちらかというと思う (5)わからない のうち(1)及び(2)と答えた市民の割合	%	目標値		40.00	40.50	41.00		
				実績値		44.80	45.40	37.60		
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

### 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>成果指標「市政へ意見を述べる機会が確保されていると思う市民の割合」・・・【達成度 b】</p> <p>市民参画ガイドラインに基づき市民参画の実施予定や実施結果の公表を行うことにより、市民に対し参画機会の周知を図っているが、市民アンケートの結果では、60歳以上で10%～20%程度減少したことが、目標値を下回った要因と考えられる。一方で市長へのはがきやメールによる意見数は約30件となっており前年度より増加している。市政に意見を述べる機会については、同様に周知している中で、60歳以上の年代において市政への関心がさらに高まっていることにより、更なる市民参画を望んでいるということではな いかと思われる。</p>

### 4 施策を構成する事務事業の検証

<p>市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか</p> <p>・なし</p>
<p>施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか</p> <p>・(市民参画・協働推進事業)市民による参画を推進するため、市民参画の手法の選定及びその周知方法について十分に検討する必要がある。</p> <p>・(市民参画・協働推進事業)市民と市との協働に対する考え方の浸透を図るため、情報発信の充実が必要である。</p>
<p>新たに取り組むべき事業はないか</p> <p>・なし</p>

### 5 施策の総合的な評価

<p>課題</p> <p>・市民による参画を推進するため、市民参画の手法の選定及びその周知方法について十分に検討する必要がある。</p> <p>・協働に対する市民の関心がまだ低いことから、意識啓発のための情報発信の充実が必要である。</p>
<p>今後の方向性</p> <p>・市民参画の実施に係る周知において、市広報や市HP・SNSに加え、コミュニティFMや有線放送等活用できる媒体を利用することや市民が参画しやすい市民参画の手法を選定することなどを市民参画・協働推進職員チーム会議の段階で十分に検討し、それぞれの手法における市民の関与・参画を増やすことにより、市民参画の推進を図っていく。</p> <p>・市民と市との協働に対する考え方の浸透を図るため、市HP等による情報発信について充実を図っていく。</p>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	<b>市民参画・協働推進事業費</b>	地域づくり	一致	間接・補完	B
	・市民参画ガイドラインによる市民参画・協働推進委員会及び職員チーム会議の開催 (委員:15人 開催:3回、職員チーム:16人 開催:3回)			B	
011	<b>市民参画・協働推進事業費</b>	地域づくり	一致	直結	B
	・市民参画の実施予定及び実施結果を市広報及び市HPで周知 (周知 3回(予定:3件、結果:3件))			A	
012	<b>市民参画・協働推進事業費</b>	地域づくり	一致	直結	B
	・協働に対する考え方・認識の共有のため、市民と市との協働指針を市HPで周知 (常時)			A	
013	<b>市民参画・協働推進事業費</b>	地域づくり	一致	直結	B
	・広聴事業 市政懇談会、市長へのはがき・メール、市民との対話などの実施 (市政懇談会27会場 613人 意見261件、市長へのはがき 9件・メール 20件、市民との対話 54人、要望陳情229)			A	